

令和元年度 月島第二小学校外部評価報告書

評価委員：三嶋竜、鈴木英二郎、角山良敬、竹内幸美
則武一光、村上公一、藤枝精治、小西幸子、光成洋二、小川美佐子
作成者：森本 眞美（副校長）

評価時期 令和2年2月

1 重点目標の評価

重点目標1について

「勉強を教えてくれるから、学校が好き」 確かな学力の向上を図る

全ての児童にとって、分かりやすい授業を行うことを主眼において、教育活動を展開することができた。具体的な取組としては、「放課後さんすう塾」で、基礎的・基本的な学習内容を繰り返し指導することを行った。その結果、基礎学力の向上につながっている。児童や保護者の算数科少人数指導への取組のアンケート結果でも「少人数の能力別コース授業やさんすう塾で算数科の基礎基本が定着している」にも高評価を受けている。また、今年度の校内研究である「授業におけるユニバーサルデザイン化」に対する取組においても、どの子にも分かる授業を目指すことが大切であることや、基礎・基本の定着につながる取組であることが確認できる場となり、評価委員から、本校の取組への肯定的評価をいただいた。

引き続き、算数科を中心に基礎的・基本的な学習内容の定着を目指すとともに、「授業におけるユニバーサルデザイン化」を推進し、全ての児童にとって分かりやすい授業を目指し、授業改善に取り組んでいく。

重点目標2について

「へんじ・あいさつ・あとしまつ」 礼儀正しい子どもを育てる

「へんじ・あいさつ・あとしまつ」をキーワードにした礼儀正しい子どもの育成に、取り組んでいる。この取組がとてもよいという評価をいただいている。教育目標である「心の豊かな子ども」の育成に向けた取組にもつながる内容である。保護者からのアンケートでの評価では、この3つの項目のうち、返事やあいさつは、おおむねできているが、「後始末」がもう少しという評価である。今後も「へんじ・あいさつ・あとしまつ」をキーワードにしながら「心の豊かな子ども」の育成に取り組んでく。

地域の方からは「礼儀正しい子ども」を育てることにおける理解や取組に対しての肯定的な評価をいただいている。さらに、学校内に限らず子ども自身が、地域の方との挨拶やコミュニケーションを図ることへの励行も続けていくようにする。

重点目標3について

「健康・体力づくり」と「特色ある教育活動の充実」

「体力向上」については、マイスクールスポーツである「なわとび」の取組に対し、よりよい実践であることの高い評価をいただいている。今後も運動に親しみ、体力の向上が図れるよう年間の指導計画に位置付け、「一輪車」の取組と合わせ、工夫ある実践を行うようにする。

また、オリンピックパラリンピック教育の中でも運動に親しみ体力の向上を図ることを主眼におきながら取組を展開していくようにする。

2 今後の改善に向けた意見

- ・場に応じたあいさつができるように、学校、保護者、地域が共通理解のもと、一体となって行っていくとよい。
- ・家庭での学習習慣の確立、学校でのフォローアップ指導、地域人材の活用など、基礎・基本の学習内容が確実に定着するように協力体制を整える。
- ・地域との交流を図りながら授業を展開したり、放課後の地域の行事に参加をしたりすることを通し、児童自身が地域の一員であることの自覚をもち、地域を愛する気持ちをもってほしい。

3 その他の意見

- ・地域の行事にも積極的に参加をするなど、地域と家庭、学校が一体となり児童の健全な育成を図るようにしてほしい。
- ・幼稚園と学校の連携を取り合う教育活動であってほしい。
- ・学校が、児童、保護者のアンケートや評価委員からのアンケートを基に、学校改善を図っていることを広く知らせていくことを今後も行ってほしい。